

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月  
結果公表日:2025年3月27日

## 回答率

事業所職員: 3名回答、回答率 100%  
保護者様: 34名回答、回答率 80%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・訓練室スペースは段差がなく、入口からフラットな環境になっている。訓練室スペースに窓がないため常時換気が難しいこともあるが、支援前後のタイミングで入口を開けて換気を行うなどの対応をしている。
- ・音などを遮断することは難しいが、パーティションで空間分け、個別のブースを設置している。
- ・必要な際は近隣教室と協力し合い、職員体制を調整し連携している。また、小集団のグループ分けを行い、適切な配置で支援が行えるよう工夫している。

### ○業務改善

- ・業務前ミーティングは毎日行い、日頃から児童の様子や保護者からの情報を共有するよう努め、職員間で意見を出し合っている。
- ・社内の階層別研修等を開催、受講し、より良い支援を学ぶ機会を定期的に設けている。

### ○適切な支援の提供

- ・活動プログラムの立案を全員で意見を出し合い、5領域のテーマごとに相談して設定している。
- ・ミーティングにてお子様ごとに合わせた目標設定を行い活動を考え、また、専門的な視点から心理士や作業療法士と連携を取り、お子様に合った支援提供に努めている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・保護者向けの授業アンケートを設置しているが、解答件数は多くない。保護者が職員へ質問しやすくなるよう、関係性の構築やアンケート解答を目につく位置に設置する等検討する。
- ・場合によって、学校や他事業所等、関係機関との連携を取っている。

### ○保護者への説明責任等

- ・保護者同士の交流の場をまだ設けることができていない為、実施形態や時期を検討している。
- ・日本語が母国語ではない方に向けて、ご家庭状況に合わせて丁寧な説明を心がけている。
- ・支援後、保護者の方々へ集団フィードバックを行い支援内容や目的をお伝えしている。

### ○非常時等の対応

- ・事業所内で地震、火災、水害等のテーマを中心に、毎月避難訓練を実施している。
- ・児童アレルギー情報や服薬有無は年度ごとに把握し、食品提供がある際は必ず対応方法等を再確認している。
- ・虐待防止研修、身体拘束研修を定期的で開催し、研修を通して知識の再確認と事例検討を行い、支援の質向上を目指している。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

・活動スペースは9割近く「十分確保されている」と評価をいただいた一方、「少し狭いと感じる」というご意見もあった。しかし、限られたスペースを工夫して分かりやすい空間になっているとの評価もいただいた。

・職員配置数で7割の方には適切と評価をいただいたが、「もう少し多い方が良いと思う」とのご意見もあった。

### ○適切な支援の提供

・こどもの特性等への理解、こどもと保護者のニーズや課題を分析した上で、支援内容等が作成されているか。事業所の提供する支援内容がプログラムと合っているか。等、支援提供に関して9割近くの方に高い評価をいただいた。

・地域や他のこどもとの交流イベント等機会はないが、事業所の「活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか」について、8割以上の方から評価をいただいた。

### ○保護者への説明等

・保護者様へのフィードバックや説明などは、丁寧に対応している印象を8割以上の方に感じて頂けている。一方で、「支援後のフィードバックが聞き取りづらい」というご意見もいただき、改善を検討していく。

・「定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか」という点に関しては「はい」と7割の方からご回答いただいたため、より機会を増やしていけるとよい。

### ○非常時等の対応

・大きな事故なく安全に過ごせていること、安全確保の部分では評価をいただいた。

・非常時等災害対策として避難訓練を毎月実施していることを周知できているものの、どのようなことを行っているかについては伝えきれていない。

### ○満足度

・事業所の支援満足度は、8割の方から「満足している」の評価をいただいた。

・「こどもは安心感を持って通っているか」については、9割以上の方から「はい」の評価をいただき、「通所を楽しみにしているか」についても、ソリスでの話しをご自宅でしていたり、楽しそうに通っている様子を挙げて下さるご意見もあった。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

・ご利用者さまが課題に集中できない要因のアセスメントを行い、アプローチ方法を検討する。

・半年に1回、防災週間を設定し、全てのご利用者さまに対して避難訓練や防災訓練を実施する。また、その内容を保護者さまへのフィードバックの際に口頭で伝えるほか、教室内の掲示物にも記載して周知する。

### ○改善できた点・まだ残る課題

・報酬改定により支援形態が変わったことにより、課題への取り組みに変化があった部分もあるが、利用者に合わせて出来る範囲でスペースを分ける等、環境設定を工夫することができた。

・避難訓練等実施の周知が口頭でのお伝えが中心となっている為、その他方法も検討していく。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・こどもの特性や発達段階に合わせて療育内容を考え、提供することができている。
- ・療育内容やこどもの様子などを指導員全員で協議、共有することで、一貫した支援を行うよう努め、日頃からフィードバック等説明を丁寧に行い、子ども様子や今後の課題などについて保護者様と共通認識をもって、支援提供に努めている。
- ・教室内の安全などを確保し、こどもが安心感を持って通えている。

### ○改善点

- ・小集団での全体フィードバックになり、聞き取りにくい時もあるとのことで、伝え方や環境作りの改善、検討をしていく。
- ・活動内容を、口頭だけでなく資料なども通して日常的に周知できると良い。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・療育参観等の開催に向けて内容を検討し、保護者さま同士の交流機会を設けるようにする。
- ・フィードバック以外に、事業所内相談等を定期的の実施し、子どもの様子や課題、保護者の悩み等お話を聞き、助言等をして保護者支援、家庭支援の機会を増やしていく。
- ・災害時に重要となる避難場所などの情報を全員に伝わる様に届ける。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・災害時に重要となる避難場所などの情報を、掲示することで全利用者へご理解いただく。
- ・フィードバックをより伝わりやすくするため、保護者様に聞いてもらいやすい位置へご案内してお伝えするなど、環境設定の改善に努める。